

日ラグ協発 24-405
2024年6月20日

関東ラグビーフットボール協会
理事長 大原 俊一 様
関西ラグビーフットボール協会
理事長 松原 忠利 様
九州ラグビーフットボール協会
理事長 御領園 昭彦 様
都道府県ラグビーフットボール協会
理事長 各位

ルーリング 2024-3 「競技規則第 19.10 スクラムのエンゲージメントプロセスについて」
(競技規則の確認)
【競技運営】

(公財)日本ラグビーフットボール協会
(承認済み・押印省略)
専務理事

拝啓、平素は日本ラグビーの普及発展につきまして多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、競技規則につきまして、ワールドラグビーよりこのほど、下記の通りルーリングに関する通達が出されました。日本協会でもこれを受け、ここに通知いたします。貴協会におかれましても、加盟都道府県協会、および、各チームに周知徹底いただけますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

明確化の要請:

アルゼンチンラグビー協会 (Union Argentina de Rugby : UAR) は、以下、競技規則の解釈の明確化を要請した:

競技規則のスペイン語訳では、スクラムの組み方における 「Crouch」 の指示は常に 「Cucilllas」と訳されている。

私たちは常に、新たに競技に参加する人や既に参加している人に対して、言葉や競技の説明の仕方を簡素化しようと努めている。スペイン語で 「cucilllas」 は、私たちがスクラムを組むために知っている、かがんだ姿勢ではなく、「かかとをついてしゃがむ」という意味になる。

従って、代わりに、レフリーのコールに「Flexión」という言葉を使うことはできないか？このプロセスにおいて、プレーヤーの動きは何も変わらないが、言葉とその意味の重要性は、習得と実践のプロセスに不可欠だと考えている。

このようなことは可能であるか？

ラグビーコミッティーの指定メンバーによるルーリング:

参照すべき競技規則の条項文:

19.10 両チームとも、まっすぐ、安定して、動かなくなったら、レフリーが「クラウチ」とコールする。

回答:

可能である。私たちは他のスペイン語圏の協会と協議を行い、この点を明確にしたいと考える。

スクラムを組む順序は、スペイン語では次のようにすることができる: 「Flexión - Tomarse - Ya」

ワールドラグビーでは、これに応じて競技規則の翻訳を修正し、関連するトレーニング&エデュケーションの教材を更新するよう努めていく。

スペイン語圏の協会や 国によっては、英語の「クラウチング - バインド - セット」の指示の使用を好むところがあることは承知しており、そのような場合には、英語でのコールを継続して使用することも可能である。

■通達対象: 加盟協会、競技運営関係者、加盟チーム

■文書作成: 日本ラグビーフットボール協会 国際部門・ハイパフォーマンス部門

■本件についてのお問い合わせ先:

公財) 日本ラグビーフットボール協会

ハイパフォーマンス部門審判グループ (referee@rugby-japan.or.jp)

以上